

## 令和5年度島本町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

島本町農業再生協議会では、貴重な生産基盤である水田の収益力を強化し、地域の特色ある魅力的な産品を創造するため、農業従事者と消費者のニーズを踏まえ、地域の作物振興の設計図となる「水田収益力強化ビジョン」を作成する。

本ビジョンでは、農業従事者の高齢化等の課題を踏まえつつ、地産地消を基調とする農業振興につなげるため、ニーズに応じた生産を進め、水田における作物（米を含む）ごとの取組方針、作付予定面積、産地交付金の活用方法等を明らかにするなど、令和7年度を目標として水田活用及び作物生産の取組方針を示していく。

### 1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

- 島本町では、コンパクトで地域に密着した立地特性から、やさい朝市や農林業祭での直売など、消費者へ直接販売することによる、所得確保に係る取組が行われている。
- 農業者の高齢化などによる営農環境の悪化が問題となりつつあるため、現在2名いる大阪版認定農業者等、多様な担い手の育成が必要となってきた。
- 高槻市農業協同組合へ野菜を出荷している経営体はなく、地域として水稻主体の経営が行われている。
- 以上のような状況を鑑み、水稻以外の転作作物販売、担い手の育成等を推進し、経営所得安定対策における産地交付金などの助成措置を活用し、町農業が抱える課題の解決を図る。
- 大阪エコ農産物や高収益作物等の作付推進によるブランド力向上などにより、生産力の向上及び農地・農空間の保全を実現していく必要がある。

### 2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力

#### 強化に向けた産地としての取組方針・目標

農林業祭や朝市という地域内消費市場を基軸に農業振興をめざすとともに、一方では、農業従事者の高齢化・後継者不足の課題を踏まえる必要がある。

省力的な生産や低い病害虫リスク、高い収益性など、将来にわたり定着化・本作化につながる振興拡大作物を総合的に衡量して選定していく。

### 3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

- 水源涵養機能や洪水防止機能等の多面的機能を維持していくため、持続性に優れた生産装置である水田を維持するための取組を行う。
- 畑作への積極的な転換により、野菜や果樹等の高収益作物を適切に組み合わせ、水田農業の省力化かつ高収益化を実現する。

### 4 作物ごとの取組方針等

#### (1) 主食用米

町内では、多面的機能を有する農空間の保全を図るうえで、水稻の作付が重要であることから、生産数量目標を最大限活用し、消費地に近いメリットを生かして、やさい朝市や農林業祭等のイベントでの消費者への直売等を推進している。

一方で、高齢化が進展していることから、大阪版認定農業者制度の周知等、多様な担い手の育成に取り組む。

#### (2) 備蓄用米 —

#### (3) 非主食用米

##### ア 飼料用米

制度の周知を図る。

##### イ 米粉用米

制度の周知を図る。

##### ウ 新市場開拓用米

制度の周知を図る。

##### エ W C S用稲

制度の周知を図る。

##### オ 加工用米

制度の周知を図る。

#### (4) 麦、大豆、飼料作物

制度の周知を図る。

#### (5) そば、なたね

制度の周知を図る。

(6) 高収益作物（野菜等）

多様化する消費者ニーズに対応するため、高品質多品目生産を推進する。特に農林業祭等のイベントには多くの地元野菜を求めた来場者があるため、多くの地元野菜が販売されるよう、野菜類の生産及び地産地消を推進する。また、安全・安心な農産物を消費者に提供するため、大阪エコ農産物に係る制度の周知及び作付を推進する。

消費ニーズが高いこと、また労力負担や病害虫リスクが比較的軽減されることを勘案し、「ダイコン、サツマイモ」の2品目を継続して選定する。さらに、高収益であること、また大阪府が「いちごアカデミー」など生産拡大のために注力している「イチゴ」を新たに選定し、計3品目を地域振興作物として選定する。

**5 作物ごとの作付予定面積**

作物	前年度の作付面積 (a)	当年度の作付予定面積 (a)	令和7年度の作付目標面積 (a)
主食用米	1,660	1668	1668
備蓄用米	0	0	0
飼料用米	0	0	0
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	110	102	102
大豆	0	0	0
飼料作物			
子実用とうもろこし	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
地域振興作物			
野菜			
・ダイコン	0	5	15
・サツマイモ	30	35	45
・イチゴ	0	5	15
・			
・			

## 6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	取組	目標	4年度(現状値)	7年度(目標値)
1	ダイコン	地域振興作物の 作付推進	作付面積の拡大	0a	15a
2	サツマイモ	地域振興作物の 作付推進	作付面積の拡大	30a	45a
3	イチゴ	地域振興作物の 作付推進	作付面積の拡大	0a	15a

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内として下さい。